

# あなたの体、大丈夫???

## 富士市の健康診査の内容と結果をお知らせします

病気の早期発見、早期治療のきっかけとなる健康診査。  
健康は、幸せな生活を営む上での基本であり、みんなの  
願いです。  
平成14年度の健康診査の内容と結果をお知らせします。



採血  
血液の質を見ることで体のどこに異常があるのか推測できます

各種健康講座  
健全な生活習慣を身につけるために、保健福祉センターで行っています



歯周疾患検診  
健康な歯を守るために検診は大切です

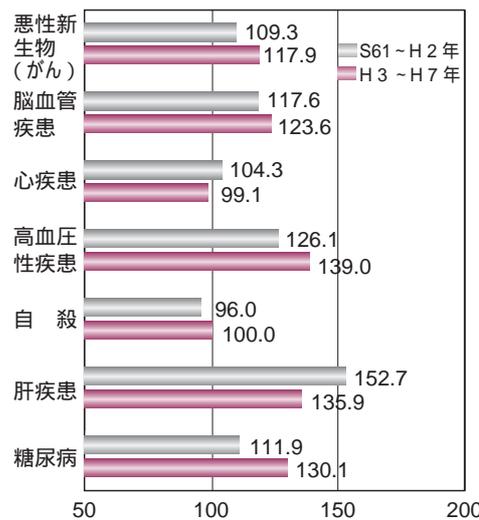
### 通知(検診のお知らせ)がなくても受診できるの?

通知は、前年度検診を受けた人に発送しています。初めての人には、通知は届きません。通知がなくても受診できますので、健康カレンダーを見て、直接会場・実施医療機関にお出かけください。

通知が届く検診  
基本健康診査、結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診

### 疾病ごとの標準化死亡率

肝疾患が多く糖尿病や高血圧性疾患の増加が著しい。  
(資料：静岡県市町村別健康指標) 注：県を100とした値



**富士市民の健康状況**  
県標準を百とした標準化死亡比を見ると、富士市はほとんどの疾病において県標準を上回り、健康とは言えない状況にあります。生活習慣病の予防対策などを強化し、県標準に引き下げるのが課題です。  
各市町村の年齢が均一であるという仮定で数値を補正し、県標準と富士市の死亡状況を比較したものの、数値が百より大きいということは県標準より死亡状況が悪く、百より小さいということは県標準よりよいことを意味します。

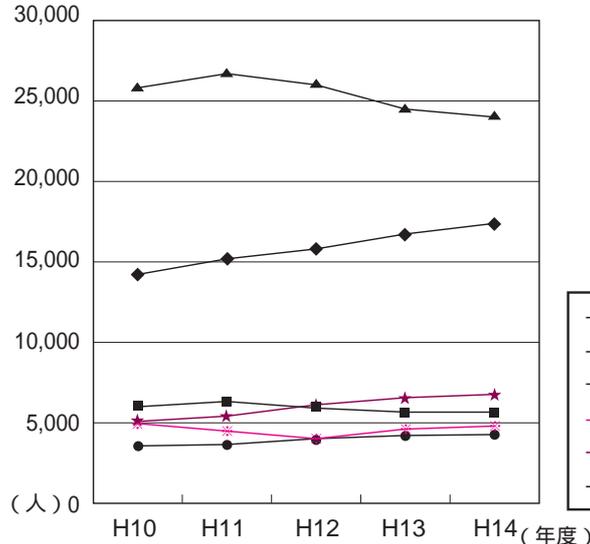


### 基本健康診査

対象 四十歳以上

生活習慣病の早期発見のための健康診査です。内容は、問診、身体計測、血圧測定、尿検査(たんぱく、糖、潜血)、心電図、血液検査(脂質検査、血糖値検査、貧血検査、クレアチニン、肝機能検査)、医師診察、眼底検査(選択項目)です。  
平成十四年度の結果を見ると、異常なしは一割にも達しません。若いうちからの生活習慣の改善を必要とすることがわかります。健康診査は

### 健(検)診別 受診者数の推移



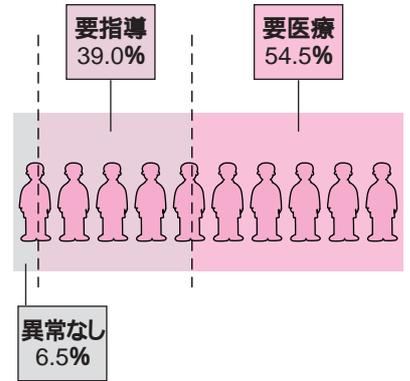
**平成十四年度の受診状況**  
市の健康診査受診者数は、なかなか伸びず、胃がん、肺がん検診は減少傾向にあります。健康を保つためには、病気を早期に発見し、早期に治療することが大切です。面倒くさい、時間がないなどと言わずに、継続して健康診査を受けましょう。

生活を改善するよい機会です。結果を見たとき感じ、日々の生活に気をつけましょう。



がん検診

|        | 対象    | 内容                                 | 受診者数    | 平成14年度がん発見数 | 平成9～13年度がん発見者数の合計 |
|--------|-------|------------------------------------|---------|-------------|-------------------|
| 胃がん検診  | 35歳以上 | バリウムを飲んで胃部のレントゲン撮影                 | 5,714人  | 5人          | 25人               |
| 子宮がん検診 | 30歳以上 | 子宮頸部の細胞を採取し検査                      | 6,661人  | 9人          | 45人               |
|        |       | 不正出血があるなど医師が必要と認めた場合、子宮内膜細胞を採取して検査 | 1,485人  | 3人          |                   |
| 乳がん検診  | 30歳以上 | 問診、視診、触診                           | 4,397人  | 7人          | 46人               |
| 大腸がん検診 | 40歳以上 | 2日分の便を採り、血が交じっているか検査               | 4,820人  | 15人         | 88人               |
| 肺がん検診  | 40歳以上 | 胸部のレントゲン撮影                         | 24,083人 | 6人          | 57人               |
|        |       | 合計                                 | 45人     | 合計          | 261人              |



検診で見つかるがんは、早期がんが多いため、早期発見、早期治療で生存率が高くなります。自覚症状がなくても、検診は毎年継続して受けましょう。



肝炎ウイルス検診

対象 節目検診(四十・四十五・五十・五十五・六十・六十五・七十歳) 要指導者等検診(肝機能の異常を指摘された人など)  
前年度対象者も受診できます。

血液検査で、B型とC型の肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。平成十四年度は、千三百十三人が受診。ほとんどの人が、肝炎ウイルスについて自覚症状がありません。対象に当てはまり、今までに検査を受けたことのない人は、ぜひ受診してください。



歯周疾患検診

対象 四十・五十歳(総合健診受診者)

歯の衰えは、四十歳ころから始まり、五十歳を過ぎるころから歯を失う人がふえ始めます。厚生労働省の調査によると八十歳の平均現在歯数は約五本です。いろいろなものをおいしく食べるには、八十歳でおおよそ二十本の歯が必要です。

富士市の平成十四年度歯周疾患検診受診状況(下図)を見ると、年齢が高くなるほど、進行した歯周炎を有する人の割合が高くなっています。歯周炎などの歯周病は、加齢によって避けられない病気ではなく、食事、歯みがき、疲労、喫煙などの生活習慣と密接にかかわり合い、最近では若年層にも増加しています。

今年度から、六十歳の人は「六十歳歯科総合検診」で受診できます。

|     | 現在歯数(本) | 健全歯数(本) | 進行した歯周炎を有する人の割合(%) |
|-----|---------|---------|--------------------|
| 40歳 | 27.9    | 13.3    | 36.4               |
| 50歳 | 26.7    | 13.0    | 53.1               |

健康診査っていくらするの?

| 健(検)診名                      | 公民館などで受診する場合 | 病・医院で受診する場合      |
|-----------------------------|--------------|------------------|
| 基本健康診査                      | 1,000円       | 1,000円           |
| 胃がん検診(間接撮影)<br>(直接撮影)       | 800円<br>—    | —<br>1,900円      |
| 子宮がん検診(頸部)<br>(体部)          | 800円<br>—    | 800円<br>2,000円   |
| 乳がん検診                       | 300円         | 300円             |
| 大腸がん検診                      | 800円         | 800円             |
| 結核・肺がん検診(喀たん検査)             | 無料(500円)     | —                |
| 肝炎ウイルス検診(節目検診)<br>(要指導者等検診) | 1,000円<br>—  | 1,000円<br>2,000円 |
| 歯周疾患検診<br>(40歳50歳総合健診受診者のみ) | 200円         | —                |
| 60歳歯科総合検診                   | 200円         | —                |

健康でありたいとだれもが思っているはず。毎年健康診査を受診し、自分の健康を自分で守りましょう。

健康診査についての詳しいことは、ことし三月に各戸配布した健康カレンダー、富士市ホームページをのぞいてください。

(F <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/cityhall/fukusi-b/hoken/>)

問い合わせ

保健福祉センター 六四一八九〇

E [womenc@city.fuji.shizuoka.jp](mailto:womenc@city.fuji.shizuoka.jp)